

2. 創造主なる神

1. 二つに飢餓 食料の飢餓と心の飢餓。ルカ 21:26

2. 恐怖と不安、むなしさは、どこから来るのか？

ローマ 1:21、22、25

偽りの神「これさえ手に入れば幸せになれる」と思わされるもの

「たいいてい人は、この世では得られない『何か』を求めている。痛烈に求めている。この世には、その「何か」を提供しようとするいろいろなものがある。しかし、それらのものはその約束を果たしたためしがない。初めて恋におちた時、心にわき上がるあのあこがれ、また初めて遠い外国のことを考えた時のあこがれ、これさえ手に入れたら、どれほど満たされるであろうかという期待と高揚感。

しかしそれはどんな恋愛も海外旅行も、それによっても完全に満たされるものではない。わたしが言っているのは、不幸な恋愛、期待外れの旅行のことではない。最高にうまくいっている恋愛、旅行のことを言っているのである。どんなにうまく行っても、最初にわれわれの心を捉えたあのあこがれは、現実になるやいなや自然に消えてしまうのだ。

たしかに彼女は素晴らしい。ホテルも風景も最高だったかも知れない。だがしかし、『何か』がわれわれの手からすりぬけてしまったのである。もしわたしたちの中に、この世のいかなる経験も満たすことのできない「ある欲求」があるとするなら、それを最もよく説明してくれるのは、つぎの考えである。わたしたちはもう一つの世界のために造られたのだ、という考え方である。

(C・S・ルイス『キリスト教の精髓』210-213頁)。

『我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか』

3. 二つの考え方

「進化論」全てのものは偶然にできた。

「創造論」創造主が全宇宙を創造した。

進化論の弱点

1) 生命は自然に発生しない。

2) エントロピーの法則

3) 中間種の化石が発見されていない **創世記 1:25**

「進化論の人生観」意味・目的・道徳的区別・価値がない。

「創造論の人生観」神に似た、意味・目的・道徳・価値を持つ。

4. 神と共に生きる本来の生き方は、軸の定まった生き方。伝道 12:1